

令和7年度公益財団法人日本スポーツ協会
 共通科目コーチデベロッパー（JSP0-CD）養成講習会
 開催要項

1. 目的

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）は、JSP0 公認スポーツ指導者制度に基づき、グッドプレーヤーを育てるグッドコーチ（公認スポーツ指導者）を養成するための共通科目講習会において、アクティブラーニングを主体とした学びの場を提供する。

そのため、スポーツの価値を高めるための時代をリードするコーチング（プレーヤーの目標達成に向け、プレーヤーの有能さと人間性を高めていく支援を行っていくプロセス）について正しく理解し、常に学び続けるとともに、受講者の学びを支援することのできるコーチデベロッパー（コーチ育成者）を養成する。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会

3. 期日及び会場

- ・第1回：令和7年9月20日（土）9:20～18:00（9:00～zoom 受付開始）
 令和7年9月21日（日）9:00～16:00（8:40～zoom 受付開始）
 ＊オンライン開催（Zoomを使用予定）。
- ・第2回：令和7年12月6日（土）9:30～18:00（9:00～受付開始）
 令和7年12月7日（日）9:00～16:00（8:30～受付開始）
 会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（予定）（東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号）
 ＊対面講習（社会情勢等により日時・会場等に変更が生じる場合がある）

*プログラム内容に応じて開始および終了時刻に変更が生じる可能性がある

*上記のほか事前・事後学習や間の学習、JSP0 が実施する共通科目講習会の見学等を実施する

4. 募集人数

80名程度（過年度受講者を含む）

5. 受講条件

以下の全ての項目に該当する者。また、JSP0 公認スポーツ指導者資格保有者が望ましい。

- (1) 原則として受講申込年度（4月1日現在）に30歳以上かつ60歳以下であり、通算10年以上のスポーツに関する指導又は教育活動（教育機関での教鞭等を含む）若しくはコーチ育成経験があり、かつ現在も当該指導等に携わっている者
- (2) スポーツに関する知識及び高い倫理観を有し、コーチングに関する学びを継続して実践する意識及びスポーツを通じた人材育成（成長）とコーチングに対する熱意を有し、自らも継続して学び続ける意思がある者
- (3) コーチデベロッパーとしての役割を意識した指導又は教育活動の場を持ち、アクティブラーニングを主体とした学びの支援を継続して実践できる者
- (4) JSP0 及び JSP0 公認スポーツ指導者資格養成団体が実施する公認スポーツ指導者養成講習会・研修会等（2019年4月の公認スポーツ指導者制度改定後の内容）において、実施団体の依頼に基づき、継続的に協力が可能である者
- (5) 同一年度内で全日程（第1回及び第2回）に参加が可能である者
- (6) パソコン、Microsoft ソフトウェア（Word、Excel、PowerPoint 等）、Google アプリ（ドキュメント、スライド、スプレッドシート）、web 会議ツール（Zoom 等）、コミュニケーションツール（Slack）などの使用に関する基礎的な知識技能と必要な機材等（PC、マイク、カメラ、インターネット回線等）を有し、受講者へのオンライン上での指導対応が可能である者

6. 申込方法

受講希望者は、以下記載の推薦団体が定める期日までに受講希望者個人調書（以下「個人調書」という。）を提出すること。また推薦団体は、指定期日までに JSP0 へ推薦書類一式（鑑文、推薦書、個人調書）を提出すること。

JSP0 加盟団体、JSP0 公認スポーツ指導者資格養成団体、講習試験免除適応コース共通科目コース承認校、日本体育・スポーツ・健康学会、日本コーチング学会、全国大学体育連合

7. 受講者の選考

JSP0 指導者育成委員会の下に設置するコーチデベロッパー育成ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）は、提出された推薦書類に基づき、「5. 受講条件」の該当状況等を審査し、性別、地域及び競技等のバランス、推薦団体における配置状況等を考慮のうえ、受講者を選考し受講内定者とする。

なお選考結果については、推薦団体並びに受講希望者に通知する。

8. 受講料

22,000 円（税込）

* 期限までに納入した受講内定者を正式な受講者として決定する。なお、一度納入された受講料は返金しない。

9. 受講有効期間

4 年

10. 修了要件

本講習会の修了にあたっては、以下のコンピテンスを基準とする。

- (1) 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ講習会受講者の主体的な学びを支援するスキルを身につけている。
- (2) 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ講習会受講者を基準に基づき適切に評価することができる。
- (3) コーチデベロッパーとしての自身の省察ができる。
- (4) JSP0 公認スポーツ指導者制度について正しく理解ができている。
- (5) JSP0 が目指すグッドコーチ像について正しく理解ができている。
- (6) JSP0 が実施する公認スポーツ指導者養成講習会について正しく理解ができている。

11. 修了認定

ワーキンググループが受講者を上記「修了要件」に基づき審査の上、修了認定を行う。未修了者への対応については、別途ワーキンググループにて決定する。

12. 注意事項

- (1) 本講習会の受講に際し取得した個人情報、本講習会の実施に関する事務連絡（資料の送付等）や JSP0 公認スポーツ指導者養成の関係業務を遂行するために利用し、これ以外の目的に利用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。
（参考）JSP0 個人情報保護方針・特定個人情報基本方針
<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>
- (2) 受講者としてふさわしくない行為（JSP0 登録者等処分規程等において違反行為と規定された行為）があったと認められた時は、JSP0 指導者育成委員会において審査し、受講資格の取消しあるいは停止、受講実績の一部ないしは全部の取消し等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、JSP0 登録者等処分規程等の関連規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討することとする。また、JSP0 又は JSP0 加盟団体等が受講者としてふさわしくない行為に関する事実調査を開始して以降、処分内容が確定するまでの間、当該受講者からの受講の辞退に関する申し出は受理しない。
- (3) JSP0 登録者等処分規程に基づく処分を受けた者にあつては、申込当該年度の 4 月 1 日時点で当該処分に対する所定の再教育プログラムを修了し、資格等が回復していること。
- (4) 本講習会で撮影した写真等は、JSP0 又は推薦団体等のホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (5) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の JSP0 が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、JSP0 ではその責任を負わない。

公益財団法人日本スポーツ協会
令和7年度共通科目コーチデベロッパ―(JSPO-CD)養成講習会 日程表

<会場> zoomオンラインミーティング(オンライン)

日程	第1回	
	1日目	2日目
時間	9月20日(土)	9月21日(日)
8:30		8:40~Zoom受付開始
9:00	9:00~Zoom受付開始	9:00~9:25 事務連絡、1日目の振り返り
9:30	9:20~事務連絡	
10:00	9:30~10:00 アイスブレイク (仲間を知ろう)	
10:30	10:00~12:00 ファシリテーション実践① ~プレーヤーズセントードなコーチ ングを実践しよう~	9:25~12:00 ファシリテーション実践② ~効果的なトレーニングづくり~
11:00		
11:30		
12:00		
12:30	12:00~13:00 休憩	12:00~13:00 休憩
13:00		
13:30	13:00~14:00 コーチデベロッパ―とは	13:00~14:30 コーチが学びたくなる ような講習会とは ~対人関係の問題解決法について 考えてみよう~
14:00		
14:30	14:00~15:30 伝達、観察、傾聴、質問、フィード バック ~コーチングセッションの運営力を 高めよう~	14:30~15:50 学び計画(2日間の振り返りを含む) ~コーチ自身の成長計画を立てて みよう~
15:00		
15:30		
16:00		15:50~16:00 事務連絡等
16:30	15:30~17:30 効果的な プロフェッショナル・ディスカッショ ンをファシリテートする	
17:00		
17:30		
18:00	17:30~18:00 1日の振り返り	
18:30		
19:00		

<会場> JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(対面)

日程	第2回	
	1日目	2日目
時間	12月6日(土)	12月7日(日)
8:30		8:30~受付開始
9:00	9:00~受付開始	9:00~9:15 事務連絡 ウェイクアップアクティビティ
9:30	9:30~10:45 事務連絡 アイスブレイク	
10:00		
10:30	9:45~11:20 間の学習で発見した課題の共有/第2回 講習とそれ以降に向けた新しい課題設定	9:15~12:00 ファシリテーション 実践④
11:00		
11:30	11:20~11:30(休憩)	
12:00	11:30~12:15 受講者の評価 (集合講習、事後評価)	
12:30	12:15~12:45 ファシリテーション準備	12:00~13:00 休憩
13:00		
13:30	12:45~13:45 休憩	13:00~13:45 振り返り・課題の共有 ・解決法の模索
14:00		
14:30		13:50~15:50 個人面談/ CDとしての旅路共有 エナジャイザー方法共有
15:00		
15:30		
16:00	13:45~17:50 ファシリテーション実践③	15:50~16:00 エンディング/事務連絡
16:30		
17:00		
17:30		
18:00	17:50~18:00 振り返り/事務連絡	
18:30		
19:00		

日程は、受講者の推薦依頼時のものであり、今後、変更となる可能性があります。

令和7年度公益財団法人日本スポーツ協会
共通科目コーチデベロッパー養成講習会
受講にあたっての留意事項

(1) 受講申込～受講者決定まで

① 受講申込、受講希望者推薦

受講希望者は開催要項等を確認の上、個人調書を推薦団体へご提出ください。

個人調書の内容に基づいて選考するため、可能な限り詳細に記載ください。

推薦団体は受講希望者の必用書類を取りまとめ、JSPOへ推薦をお願いいたします。

② 選考結果(受講内定通知)発信、受講料納入

JSPOから推薦団体に選考結果を通知いたします。お手数ですが、結果については、適宜受講希望者へのご共有をお願いいたします。

なお、受講内定者には、受講手続き(受講料支払い等)についてご案内をいたしますので、必ず情報共有をお願いいたします。受講料の支払いが確認できた時点で受講者として正式に決定となりますので、ご留意ください。

(2) 講習会受講

① 事前学習

受講決定後、具体的な内容についてお知らせいたします。事前学習では、コーチデベロッパー(JSPO-CD)として最低限必要な知識について、自主学習で学んでいただきます。

② 講習会、間の学習

レクチャーや受講者同士によるディスカッション、ファシリテーション実践を通してJSPO-CDとして必要な知識、スキルについて学んでいただきます。

※養成講習会(平成30年度)の映像をホームページにて公開しております。

URL: <https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=3809>

2次元コード:



(3) 修了判定

開催要項の「修了要件」については、次の観点を踏まえて評価する予定です。審査結果は、推薦団体及び受講者本人にJSPOから通知いたします。

令和7年度公益財団法人日本スポーツ協会
共通科目コーチデベロッパー養成講習会
受講にあたっての留意事項

JSPPO-CD養成講習会 修了要件

- 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ講習会受講者の主体的な学びを支援するスキルを身につけている。
- 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ講習会受講者を基準に基づき適切に評価することができる。
- コーチデベロッパーとしての自身の省察ができる。
- JSPPO公認スポーツ指導者制度について正しく理解ができている。
- JSPPOが目指すグッドコーチ像について正しく理解ができている。
- JSPPOが実施する公認スポーツ指導者養成講習会について正しく理解ができている。

(4)修了認定後

修了者には、JSPPO-CDとして、次年度以降、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ講習会・各種指導者研修会の講師等への対応にご協力をいただくこととなります。

その際に、ご本人から承諾をいただいた連絡先情報を実施団体に共有する場合がありますので、予めご承知おきください。

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ講習会は例年、年間20～30会場程度開催しており、JSPPO-CDの方々のご都合を踏まえ、1～2会場程度のご担当をお願いしております。

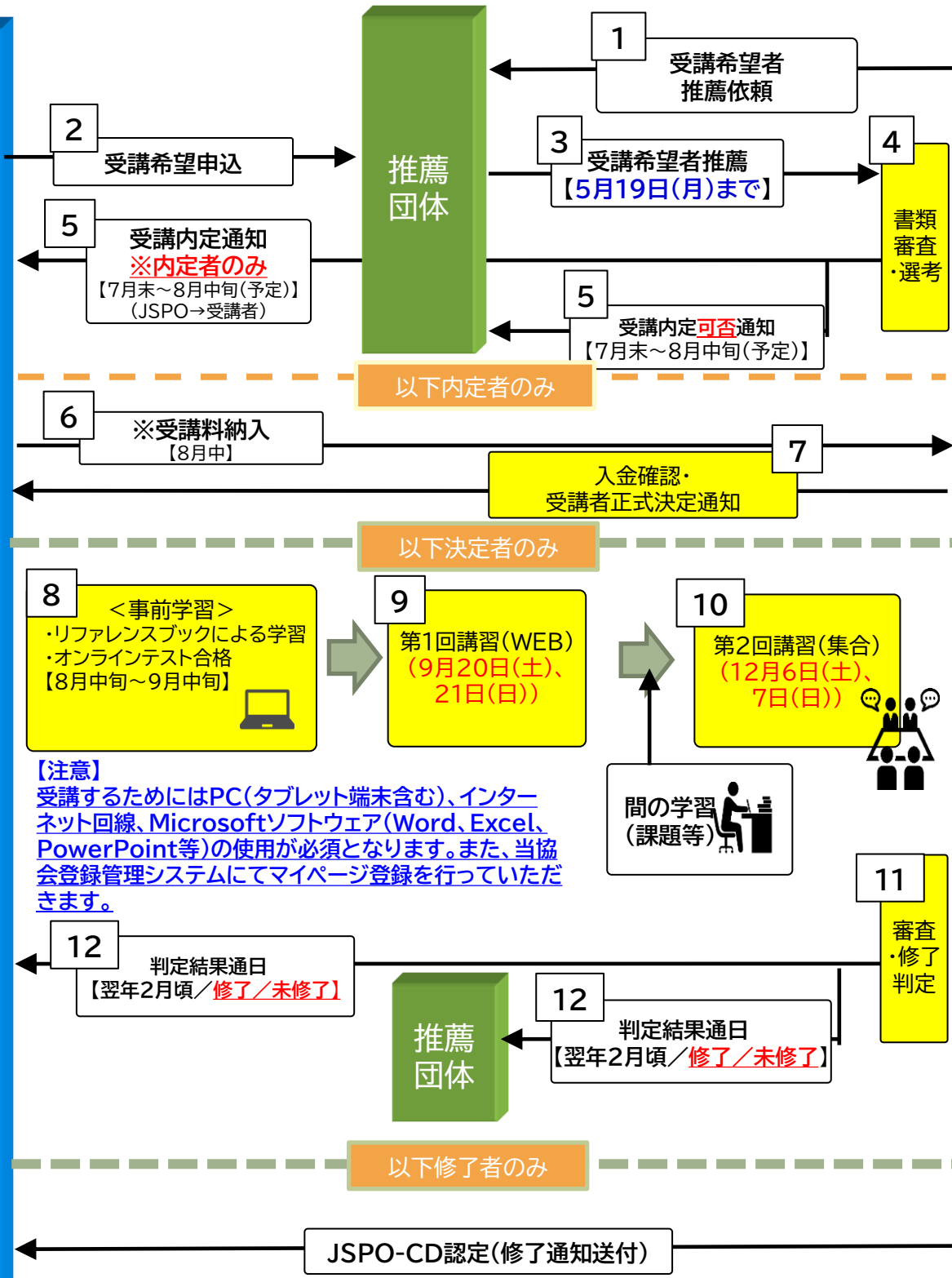
同講習会は、オンライン形態と集合形態により実施しており、受講者のうち8～10名程度の担当者として、複数名のJSPPO-CDと協力をしながら受講者の学びを支援する役割を担っていただきます。

なお、今後、JSPPO-CDとしての各種講習会の担当状況やJSPPO-CDを対象とした研修への参加実績をもとに、一定の年限ごとにJSPPO-CDとしての依頼の継続について審査していく予定としております。詳細については、決まりました際にお知らせいたします。

JSPO-CD養成講習会 受講の流れ

受講(希望)者

JSPO
日本スポーツ協会



JSPOと都道府県体育・スポーツ協会にて次年度の共通科目講習会の担当調整を行い、講師依頼の案内をします。

※上記については、本資料作成時点の予定となり、記載内容に変更が生じる場合がありますことを予めご了承ください。

【参考】

公認スポーツ指導者育成基本方針

公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成し、望ましい社会の実現に貢献する。

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタード*の考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者である。

●公認スポーツ指導者が目指すグッドコーチ像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人	人が好き、スポーツが好き、スポーツの意義と価値の理解
グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることができる人	プレーヤーやスポーツの未来に責任を持つ
プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自身を振り返りながら学び続けることができる人	課題発見・課題解決、自立支援、プレーヤーのニーズ充足、卓越した専門知識(スポーツ教養含)、内省、継続した自己研鑽
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長することができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、真摯さ、継続性、同情・共感、対象に合わせたコーチング
プレーヤーの生涯を通じた人間的成長を長期的視点で支援することができる人	プレーヤーズセンタード、プレーヤーのキャリア形成・人間的成長、中長期的視点
いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人	暴力・ハラスメント根絶、相互尊敬(リスペクト)、公平・公正さ
プレーヤーが、社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動をとれるよう導くことができる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守、暴力・ハラスメント根絶意識のプレーヤーへの伝達
プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者(アントラージュ)が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・協働・協調できる環境をつくることができる人	社会との関係・環境構築、チームプレー、感謝・信頼、協力・協働・協調